

令和5年度 県立鹿島特別支援学校 自己評価表

【別紙様式2】

No. 1

目指す学校像	◆元気に楽しく学べる学校 ◆一人一人がよさを発揮できる学校 ◆保護者、地域とともにある学校			
昨年度の成果と課題	重点項目	重点目標	達成状況	
○年間指導計画の見直しに取り組み、単元ごとに3つの柱で目標を整理した。各部の系統性を押さえた見直しを進める必要がある。タブレット端末や電子黒板の充実、ミニ研修の実施、活用資料の蓄積等によりICTを活用した授業づくりが増えた。各教科の目標を押さえた授業づくりの中で、個別最適化されたICT活用に取り組むことが課題である。キャリア教育では、全職員が各学部の目標や取組を共有し、小学部段階から系統性のあるキャリア教育を推進していく必要がある。 ○感染症対策を行い、工夫しながら様々な教育活動が実施できた。行事を通して、児童生徒が仲間とのつながりを感じられる実践ができた。長期欠席児童生徒等への組織的な対応が課題である。各避難訓練、学校安全委員会、学校保健委員会、いじめ防止対策会議等の実施により、安心安全な学校運営に努めた。重大事故の未然防止のため、ヒヤリハット事例の共有を図った。事例の分析を進め、安全面へのより高い意識を持続させていく必要がある。 ○幼・保、小・中・高等学校等の依頼を受け、巡回相談や研修会等を実施し成果を上げている。引き続き関係機関と連携を図り、センター的機能の充実を図っていく。学校運営協議会設置に向け研修等を通して学校・家庭・地域の相互理解の重要性を改めて認識できた。地域とともに歩む学校づくりに向け、学校経営方針や課題を共有し、地域の方への理解推進に努める。 ○研修会やセルフチェック、資料掲示等によりコンプライアンス意識の醸成を図った。当事者意識を高める研修内容の工夫が必要である。働き方改革として定時退勤日の設定、電話のメッセージ対応、メールによる欠席連絡、ペーパーレス化等に取り組んだ。職員の多忙感の軽減につながる取組を更に検討していく。	○一人一人の学びを大切に にした指導の充実	①育成を目指す資質・能力を踏まえた系統性のある年間指導計画の見直し ②「わかる」「できた」が実感でき、深い学びにつながる授業実践 ③ICTの効果的活用と校内研修の実施 ④自立活動の指導の工夫 ⑤各部の目指す姿に応じた系統性のあるキャリア教育の実践	① B ② B ③ B ④ B ⑤ B	B
	○安心安全な環境と豊かな心、健やかな体を育む教育の充実	⑥安心安全な教育環境の徹底 ⑦自己有用感、自己肯定感、自己実現を促す体験活動の充実 ⑧多様な見方や考え方に触れる道徳教育の推進 ⑨文化的・体育的活動の充実	⑥ A ⑦ B ⑧ B ⑨ B	B
	○地域とともにある学校づくりの推進	⑩センター的機能の強化 ⑪校内支援体制の充実 ⑫交流及び共同学習の充実 ⑬学校運営協議会を核としたPTAや地域、関係機関との連携・協働 ⑭ホームページや学校公開等による積極的な情報発信と地域への理解推進	⑩ B ⑪ B ⑫ B ⑬ B ⑭ A	B
	◎重点項目・重点目標達成のための学校体制の推進	(a)あいさつ・言葉かけ・話し合いの重視 (b)専門性の向上 (c)働き方改革の推進（効率化を図るタイムマネジメント） (d)鹿特コミュニティ・スクールの推進	(a) A (b) B (c) B (d) B	B

評価項目	具体的目標	具体的方策	重点目標との関連	評価	成果(○)、課題(●)及び次年度(学期)への改善策(◇)
学校経営 管理 教育計画	○育成を目指す資質・能力の整理と年間指導計画の見直し	○各部の身に付けたい力の整理	①⑤	B	<p>○3つの柱に基づく年間指導計画の見直しと各部の教育課程改善</p> <p>●年間指導計画と個別の指導計画との関連性</p> <p>◇個別の指導計画との関連性と年間指導計画の見直し・改善に係る体制の構築</p> <p>○自立活動の研修会を実施し、中心課題や流れ図の作成、指導形態について理解が深まった。</p> <p>●流れ図の作成</p> <p>◇流れ図を簡略化する等の様式検討、事例集作成</p> <p>○定期的な安全点検による破損や危険箇所の早期発見・修繕</p> <p>●定期点検以外での発見・報告の遅延</p> <p>◇早期発見・報告の徹底</p> <p>○研修会や講習会の実施、感染症予防アナウンスによる保健・安全指導の徹底</p> <p>●ヒヤリハット事例や事故報告など共通理解の場の設定と工夫</p> <p>◇想定される事案のシミュレーション研修の実施による共通理解と安全対策の見直し</p> <p>○保護者向け給食体験による「食」に対する理解推進、職員間の積極的な情報共有による事故の未然防止</p> <p>●給食体験の保護者参加率アップ</p> <p>◇給食体験を各部合同で実施、文書に献立を掲載する等、回数や周知方法の工夫</p> <p>○非常食試食体験、全児童生徒引き渡し訓練、荒天時の避難、外部講師による研修の実施による防災に対する知識・理解の深まり</p> <p>●様々な想定で災害時避難訓練や対応訓練が必要</p> <p>◇様々な想定での災害時避難訓練や対応訓練の継続実施</p> <p>○校則の見直し、いじめ早期対策チェックリストや長期欠席児童生徒把握シートの活用による課題の共通理解と早期対応</p> <p>●生徒指導部と各部の連携による課題の把握と情報共有</p> <p>◇生徒指導案件報告フローチャートの活用による情報共有と環境づくり</p> <p>○スクールバス置き去り防止安全装置の導入と運行マニュアルの見直しによる安全な通学指導</p> <p>●スクールバス内の課題対応に係る号車担当者間の認識や対応方法の共通理解</p> <p>◇係会の見直しによる共通理解の徹底</p> <p>○児童生徒が役割を担う場や活躍の場の設定など体験活動の工夫、思いや考えを伝え合う話し合い活動の工夫</p>
		○学習指導要領を踏まえた年間指導計画の見直しと3つの柱で目標設定	①②③④⑤	B	
		○自立活動の指導の工夫	④	B	
	○安心安全な教育環境の徹底	○事故やけがの未然防止に向けた安全点検の実施	⑥	A	
		○保健・安全指導の充実と医療的ケアの安全な実施	⑥⑨	B	
		○食に関する指導の充実と食物アレルギーへの適切な対応	⑥⑨	B	
		○多様な避難訓練等の実施と危機管理体制やマニュアルの見直し	⑥	A	
		○いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向けた体制の見直し	⑥	A	
		○長期欠席児童生徒や生徒指導に係る課題への組織的な対応	⑥⑪	B	
		○通学指導マニュアル、運行マニュアルの徹底による安全な通学指導の強化	⑥	A	
○一人一人がよさを発揮できる活動の充実	○「役に立つ喜び」「できるという喜び」「自分らしさを発揮する喜び」が得られる学級活	⑦	B		
	○各部・学年、分掌部によるヒヤリハット事例の情報共有による重大事故防止	⑥	A		

		動や児童生徒会活動、学校行事、部活動や放課後活動の実践			○体育的行事や大会、作品応募への積極的な参加 ●児童生徒の内面の評価 ◇キャリアパスポートの活用
		○「自分の思いや考えをもつ」「友達の考えに触れる」「思いを伝え合う」場や体験活動の工夫、自分の気持ちを調整し折り合いを付けて生活する場や体験活動の工夫	⑧④	B	
		○作品展、作品応募等への積極的参加	⑨⑦	B	
		○体育及び体育的行事の工夫による体力の向上	⑨	B	
教職員の育成及び指導・監督	○授業改善の推進とICT活用のスキルアップ	○「わかる」「できた」が実感でき深い学びにつながる授業実践（一人一授業研の実施）	②③(b)	B	○3つ指標での目標・評価を設定した授業展開 ●単元計画の妥当性の検討、授業の質の向上 ◇単元や内容のまとまりを見通した単元計画表の練り上げ、各部の課題に応じた研修の実施 ○効果的な研修によるICT機器の活用が高まった。 ●活用方法・内容によって1回の研修ではスキルの定着が難しい。 ◇ニーズや活用法の習熟に応じた研修の推進 ○全体研修や各部ボトムアップ研修、「意識していこう」キャンペーンの実施による一人一人の意識の高揚 ●当事者意識をもつ。 ◇ボトムアップ研修の工夫 ○退勤時間や定時退勤日の遵守 ●多忙感の軽減 ◇業務改善と各自のタイムマネジメントの見直し
		○各部や情報教育部によるICTミニ研修の実施	③(b)	B	
	○「あいさつ・言葉かけ・話し合い」による風通しのよい職場環境づくり	○学校徴収金や諸帳簿等の適正な処理や取扱い、ダブルチェックによる個人情報を含む文書等の誤配付やデータの誤送信の防止	⑥(a)	A	
		○児童生徒の人権に配慮した指導の徹底	⑥	A	
	○時間外勤務の縮減	○コンプライアンス研修の工夫と「意識していこう」キャンペーンによる意識の醸成	(a)	A	
	○効率化を図るためのタイムマネジメントの実践による退勤時刻・定時退勤日の遵守（時間外勤務45時間以内）	(c)	B		
対外活動	○地域とともにある学校づくりの推進と積極的な情報発信	○保育園・幼稚園、小・中学校、高等学校への支援の充実	⑩	B	○出向相談、来校相談、体験学習による各種学校への相談支援、校内児童生徒への相談支援・支援会議の実施、小中学校のコーディネーターへの情報発信によるセンター的機能の強化 ●件数増加に伴う対応時間の確保、学校業務・行事等との調整 ◇校内の人材確保や人材育成 ○交流及び共同学習の回数や内容の充実、学校運営協議会による地域との連携 ●相互理解の推進 ◇学校運営協議会や地域人材を活用した取組の実践 ○新たな取組、企画の工夫による学校公開の実施、ホームページでの積極的な情報発信 ●地域の本校への理解推進 ◇取組や情報発信の工夫
		○児童生徒、保護者、教職員も含めた校内支援体制、支援会議の充実	⑪⑥	B	
		○相互理解につながる活動内容の工夫	⑫⑦⑧	B	
		○PTAや地域等と連携した活動の推進、地域人材の活用	⑬⑦⑧⑫(d)	B	
		○ホームページや学校公開の充実、進路や福祉情報等の情報発信	⑭(d)	A	

※評価基準： A：十分達成できている B：達成できている C：概ね達成できている D：不十分である E：できていない